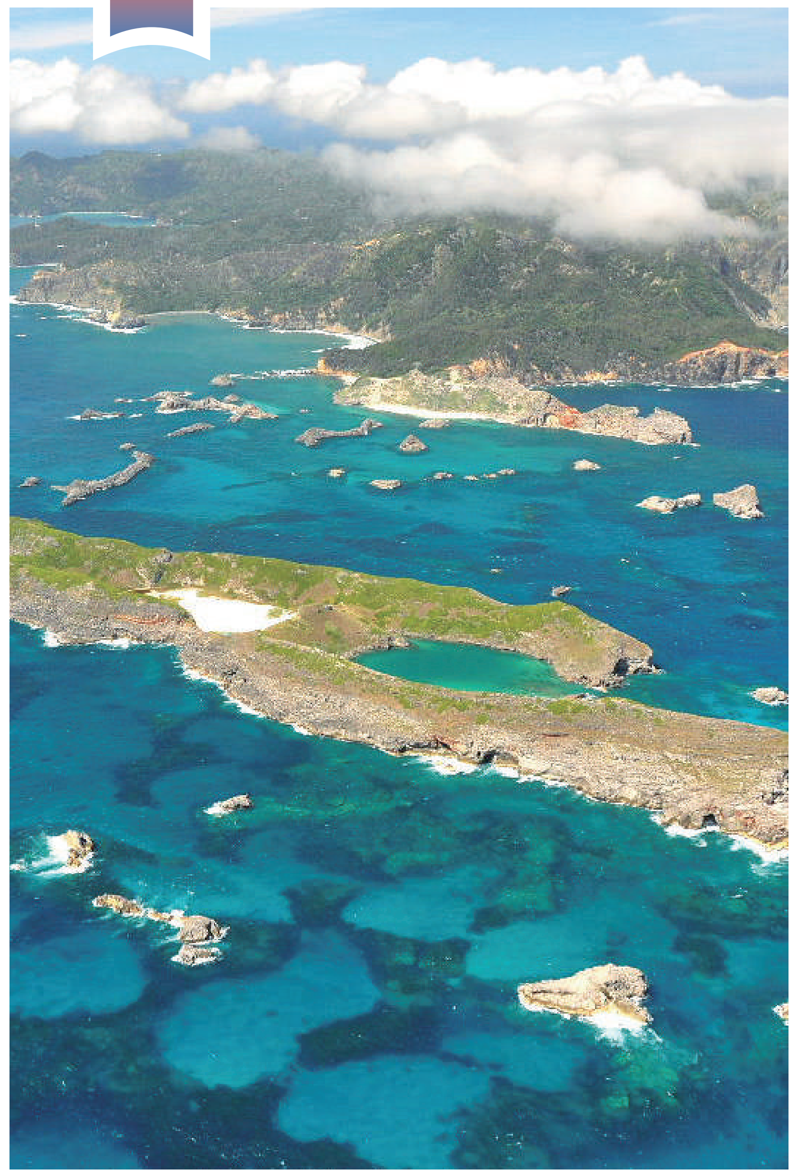
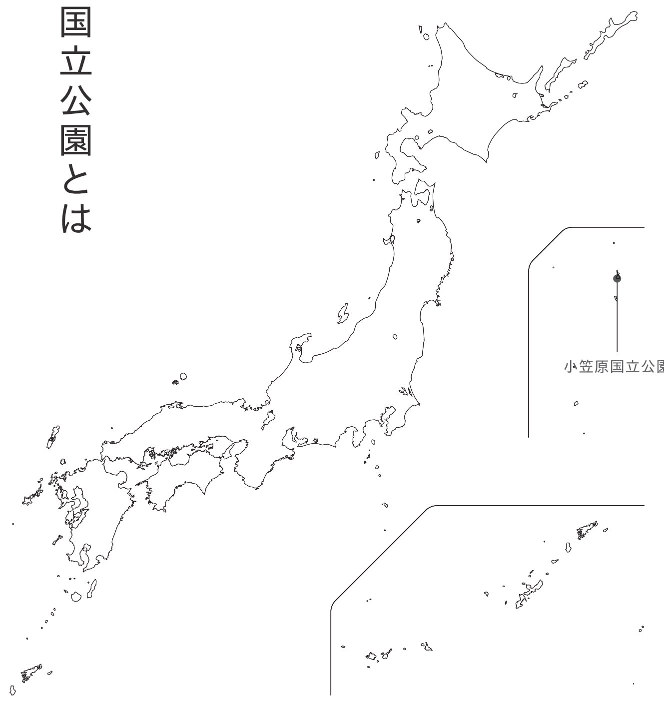
小笠原
国立公園

National Parks of Japan



国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。
北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。
国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。
是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

特長

亜熱帯の海洋島
── 進化と固有種の宝庫 ──

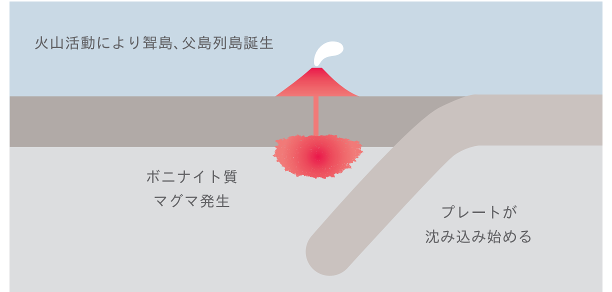
小笠原国立公園は、日本列島から約1,000km南に位置する亜熱帯の島々で構成されています。これらの島々は大陸と陸続きになったことがない「海洋島」であり、独自の進化を遂げた動植物や生態系が広がっていることから、平成23年6月、世界自然遺産に登録されました。
景観では、亜熱帯性の海洋島ならではの島しょ景観、枕状溶岩などの独特の海岸地形、国内では数少ない沈水（ちんすい）カルスト地形などを望むことができます。また、海域ではザトウクジラやイルカに代表される海棲ほ乳類、アオウミガメ、サンゴ礁や熱帯魚などの生物が多彩な海中景観を構成しています。利用については、日本のエコツーリズムの始まりと言われているホエールウォッチングの自主ルールの制定など、小笠原エコツーリズム協議会を中心に先進的なエコツーリズムがなされています。

［指定年月日］昭和47 年10月16日　［面積］6629ha
［関係都道府県］東京都

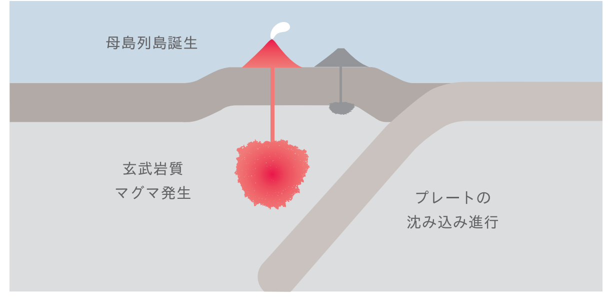
地形　地質

小笠原諸島は、海洋プレート同士がぶつかり合い、島が誕生し成長してきた過程を観察できる貴重な場所です。

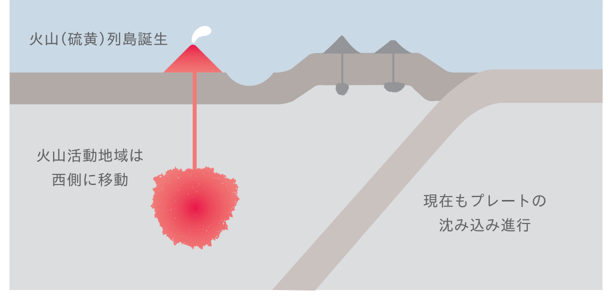
約4,800万年前、プレートのすぐ下で発生した火山活動により父島・聟島列島ができました。



約4,400万年前には、より深い場所で発生した火山活動により母島列島ができました。



プレートの沈み込みはさらに進行し、現在も活動している火山列島が生まれました。



小笠原では過去の海底火山活動で発生したマグマが冷え固まってできた「枕状溶岩」や小笠原の洋名ボニンアイランズから命名された溶岩である「ボニナイト」をはじめ、ボニナイトに含まれる固い鉱物でできた「うぐいす砂」や、石灰岩が浸食や風化を受けてできたカルスト地形が海に沈んだ「沈水（ちんすい）カルスト」など、世界的にも珍しい地形・地質を見ることができます。

ボニナイトを含む枕状溶岩

南島周辺の沈水（ちんすい）カルスト

取り組み

小笠原諸島では、在来昆虫を捕食するグリーンアノールや在来植物を被圧するアカギなどの、小笠原の外から人の移動に伴って侵入した外来種によって、生態系が大きな影響を受けています。
そのため、関係機関や地域住民が協力して、影響の大きい外来種の駆除や希少な固有種などの保護を行っています。また、新たな外来種を持ち込まないための対策として、靴底洗浄などを行っています。
対策を進めると思わぬ変化が現れることもあります。様々な生物同士の関係や生態系のバランスに注意し、変化に合わせて対応する、順応的管理によって対策を進めています。

外来種グリーンアノール

グリーンアノール防除の取り組み（母島新夕日ヶ丘）

薬剤によるアカギの枯殺駆除

乗船時の靴底洗浄

連絡先一覧

環境省関東地方環境事務所
〒330-6018 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
明治安田生命さいたま新都心ビル18F
| TEL | 048-600-0516　| FAX | 048-600-0517
| URL | http://kanto.env.go.jp/

小笠原自然保護官事務所
〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町
小笠原世界遺産センター内
| TEL | 04998-2-7174　| FAX | 04998-2-7175

小笠原国立公園サイト
http://www.env.go.jp/park/ogasawara/

環境省
発行者：環境省
発行年：2018年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

動植物　生態系　景観

小笠原は温和な亜熱帯に位置し、東南アジアの亜熱帯起源のムニンヒメツバキや、日本本土起源のナガバキブシや、オセアニア起源のノヤシなど、多様な起源の植物が定着しています。さらに独自の種分化を遂げた結果、小さな海洋島でありながら種数が多く、固有種率が高いのが特徴です。動物については、小笠原にしか生息しておらず、かつ数が少なく保護を図っていく必要のあるアカガシラカラスバト、オガサワラオオコウモリなどを見ることができます。また、小笠原諸島の周辺には数多くのイルカやクジラなどが生息しており、日本最大のアオウミガメの産卵地でもあるなど、海域においても様々な生き物を見ることができます。

小笠原のような「海洋島」は、生きものが陸を通って移り住むことができないため、空や海を越えることのできた限られた生きものだけが島にたどり着きました。そして、島の環境に合ったものが生き残り、さらに適したものへと独自に進化してきました。
こうして独自の進化を遂げた結果、小さな島の中に世界でもここにしかいない固有の生きものが数多く生息・生育しています。在来種に占める固有種の割合は、植物（維管束植物）で36%、昆虫類で28%、陸産貝類では94%にもなります。
父島や兄島では、「乾性低木林」と呼ばれる背の低い林がたくさん広がっています。乾性低木林は、父島や兄島の乾燥した気候に合わせて、葉の形を変えるなどの進化をした固有の植物たちが生育しています。
一方、母島では「湿性高木林」と呼ばれる、湿度が高く雨の多い環境を好む背の高い森林が広がっています。

アカガシラカラスバト（固有亜種）

アオウミガメ

ムニンヒメツバキ（固有種）

ノヤシ（固有種）

オガサワラチビクワガタ（固有種）

ヘタナリエンザガイ（固有種）

ムニンツツジ（固有種）

オガサワラオカモノアラガイ（固有種）

湿性高木林で見られる木性シダ（石門（せきもん））

乾性低木林（兄島）

利用

小笠原では、ガイドツアーによるエコツーリズムの先進的な取り組みが進められています。陸域では、固有の動植物種の観察、夜行性の生き物や星空を観察するナイトツアーによる利用が行われており、海域では、イルカと泳ぐドルフィンスイムや、クジラを観察するホエールウォッチングなどが行われています。
これらは、小笠原ルールブック（小笠原エコツーリズム協議会発行）にまとめられている自主ルールにより、自然を守りながら楽しめるような配慮がなされています。

自然ガイドによる南島ツアー

小笠原ルールブック

ザトウクジラ

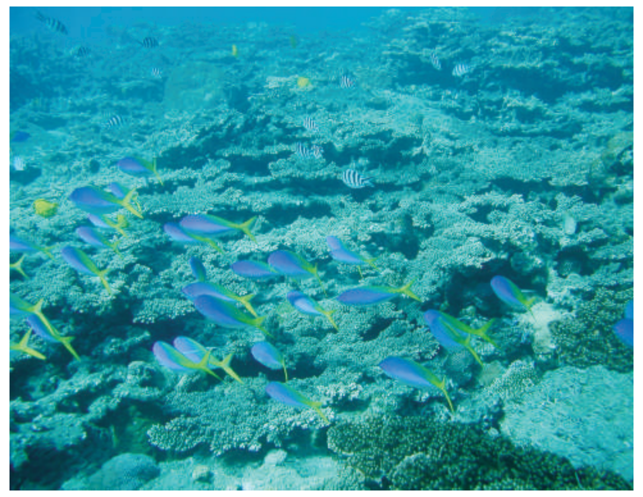
国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、
国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、
次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- 足下注意（転落注意）
- 高波・波浪・強風に注意（潮位の変化に注意）
- 雨天時・土砂崩れに注意
- 地震・津波に注意（大きな揺れを感じたら高所へ避難）

父島列島

01 兄島海域公園 B2



兄島の南側に位置する海域。透明度が高く、サンゴ礁のなかを色とりどりの魚が群れをなして泳いでいます。海域のエコツアーなどで訪れることができます。

02 長崎展望台 B2

電信山遊歩道の終点にある展望地で、眼下にはワシントンビーチ、兄島瀬戸、そして瀬戸越しには兄島や弟島を望むことができます。

03 旭山 B2

二見港の東側に位置する標高267mの山。入口の駐車場から徒歩30分で登頂できます。頂上からは二見港を一望することができます。

04 ウェザーステーション展望台 B2

父島の西側に位置する展望台。水平線に沈む夕陽の絶好のポイントで、天気が良いと多くの人でにぎわいます。シーズン中はホエールウォッチングを楽しむこともできます。

05 東平アカガシラカラスバトサンクチュアリ B2

アカガシラカラスバトをはじめとする固有種や希少種が多くみられる地域です。森林生態系保護地域のため、入林許可を受けたガイドの同行が必要です。

06 小港海岸 B2

海岸林のトンネルを抜けると白い砂浜が広がります。波の静かな遠浅の海岸なので、海水浴に適しています。村営バスでアクセスできます。

07 南島 B3

石灰岩から成る沈水(ちんすい)カルスト地形の島であり、真っ白な砂と青い海のコントラストの美しい景観が見られます。上陸の際は東京都認定ガイドの同行が必要です。

母島列島

08 北港 C2

北進線を北上した終点にある北港園地は、ビロウ葺の休憩舎があり、面する湾では、シュノーケリングを楽しむことができます。また、かつて北村集落のあった場所で、小学校跡などが残っています。

09 石門(せきもん) C2

高さ20mにも及ぶウドノキ、シマホルトノキなどからなる湿性高木林の、鬱蒼とした雰囲気が楽しめます。東京都認定ガイドの同行が必要です。

10 乳房山 C2

標高463mの母島最高峰。天気が良ければ、美しい母島属島の島しょ景観が望めます。また、遊歩道沿いにハハジマノボタンなどの多くの固有植物が見られます。

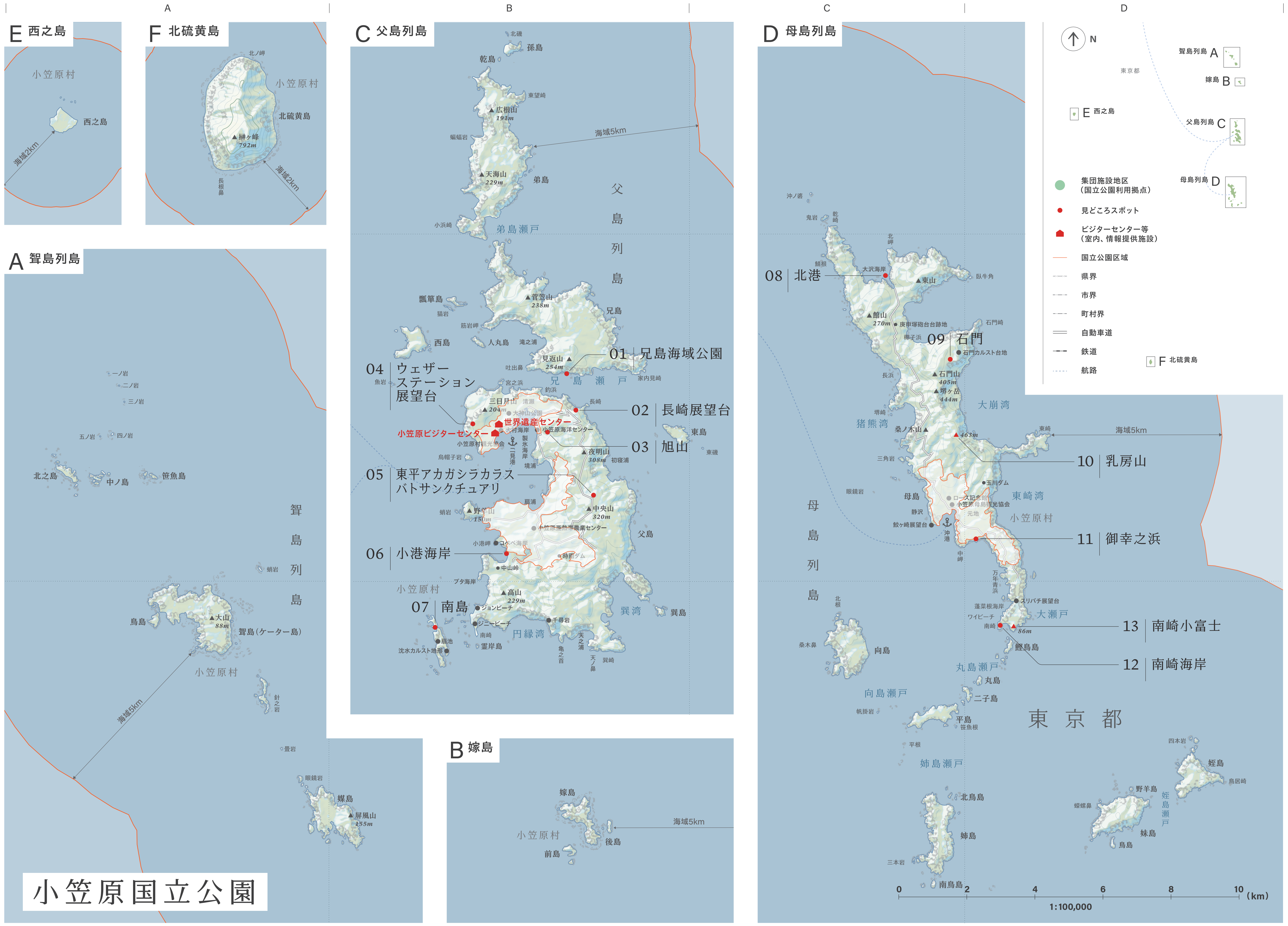
11 御幸之浜(みゆきのはま) D2

サンゴ礁の広がる美しい海中景観が見られることから、海域公園地区にも指定されており、シュノーケリングで楽しむことができます。また、海岸では、貨幣石という大型有孔虫(ゆうこうちゅう)の化石が見られます。

12 南崎海岸 D3

起伏が穏やかなビロウとタコノキの林を抜けると、サンゴ礁が美しい海岸が広がります。シュノーケリングに最適ですが、沖合は流れが速いため注意が必要です。

小笠原国立公園



13 南崎小富士 D3

南崎の遊歩道の終点にある小富士からは、海側に、母島属島のつらなる島並景観を、反対側に乳房山まで眼下に広がる乾性低木林の、美しい景観を望むことができます。

Information 施設案内

小笠原ビジターセンター B2
〒100-2101
東京都小笠原村父島字西町
[TEL] 04998-2-3001
[開館日] おがさわら丸、観光船入港中
[開館時間] 8:30〜17:00
小笠原の自然、歴史や文化をパネルや復元模型、映像を使って分かりやすく展示・解説しています。

世界遺産センター B2
〒100-2101
東京都小笠原村父島字西町
[TEL] 04998-2-7174
[開館時間] 9:00-17:00
[開館日]小笠原情報センター内HP、カレンダー参照
http://ogasawara-info.jp/sekaiisansenta/sekaiisansenta.html

小笠原村観光協会 B2
〒100-2101
東京都小笠原村父島字東町
[TEL] 04998-2-2587
[開館日]年中無休
[開館時間] 8:30-12:00 / 13:30-17:00

ロース記念館 C2
〒100-2211
東京都小笠原村母島字元地
[TEL] 04998-3-2064
[開館時間] 8:30〜16:00
[休館日] ははじま丸運休日
ロース石で作られた郷土資料館

小笠原母島観光協会 C2
〒100-2211
東京都小笠原村母島字元地
[TEL] 04998-3-2300
[開館時間] 8:30-12:00 / 13:30-17:00
[休館日]おがさわら丸父島出港中の土・日・祝日

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス

- 羽田空港 →（東京モノレール 約20分）→ 浜松町駅
- 東京駅 →（JR山手線 約4分）→ 新橋駅
- 浜松町駅 ↔ 東京駅（JR山手線 約2分）
- 浜松町駅 →（徒歩 約10分）→ 竹芝駅（竹芝客船ターミナル）
- 新橋駅 →（ゆりかもめ 約4分）→ 竹芝駅（竹芝客船ターミナル）
- 竹芝駅（竹芝客船ターミナル）→（定期船「おがさわら丸」約24時間）→ 父島（父島二見港）
- 父島（父島二見港）→（定期船「ははじま丸」約120分）→ 母島（母島沖港）

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。
詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。

09-254 14-小笠原_和.indd 2
2020/10/14 10:44:29